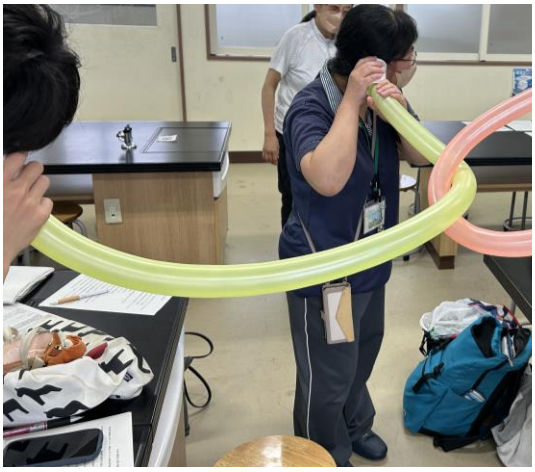
理科離れを止める研究会

豊中市立学校教育認定研究会

実施日：2025 年　 5 月　２１日

研究テーマ：「魅力的な教材開発」というアプローチから理科離れを止める



風船を使った音の実験

加圧器とペットボトルを使った音の実験

研究会の達成目標：
パッケージ化した教材を各学校へ貸し出し、ローテーションさせていくシステムを作り、学校の理科室に科学館のミニブースを作っていく

＜活動内容＞
教材の研究。
（種子について）
・様々な種子を集めることで児童が自然と対話するようなパッケージセットを作成の検討をしていく。ダイオウマツがある学校もあるので、各校で種子集めをし、持ち寄り検討を進める。また、アルソミトラの種子の模型を作成できれば、種子が遠くまで飛ぶ仕組みを児童に体験させることができため、その検討も進めていく。
（音の教材について）
・「ペットボトルと加圧式霧吹きを使った音の変化を体感できる実験道具」や、「風船と紙コップを使った風船電話」を作成し、音が振動によって伝わるということをだれでも気軽に指導できるようなパッケージを作成する。また、準備物や実験のコツなどを載せた指導案も作成する。
（顕微鏡について）
・顕微鏡を使い、星の砂や火山灰、塩化アンモニウムの再結晶などが観察できるパッケージセットを作成することで、児童が主体的に顕微鏡を学べる教材作成を進めていく。

＜今後の活動＞
教材に研究を続け、具体的な内容にしていく。
夏の研修の計画や外部講師をお願いする先生方と日程調整等を進めていく。